

第2回 川内地域在医療連携多職種交流研修会

(グループワークまとめ)

2017.9.21 いいせんネット研修会

①講演、実演を受けての感想・気づかれたこと・もっと知りたいこと・聞きたいこと。

【医師】

- ・ほぼ寝たきりの方は肌をきれいに保たなくてはいけない。
- ・訪問入浴時に陰部、褥瘡等のチェックをしてもらうと非常に助かる。

【歯科医師】

- ・介護の点数は？ (1000~1200 単位)介護度によって。
- ・利益は？
- ・体重の大きな方の場合？→困難
- ・交通費は？→(介護保険込)

【薬剤師】

- ・余命が短くてどうしても入りたい方が訪問入浴利用。数日後亡くなられた。
- ・在宅で過ごしている方は入浴したい。
- ・実演を見るといろいろ配慮されていた。自分も入ってみたい。
- ・住宅改修やリフトでの自宅の入浴介助と訪問入浴の違い。ベッドから自宅お風呂場への距離、訪問入浴はベッドの横に浴槽。
- ・介護度 3.4.5 の方。単価 1,250 円。
- ・耐久年数は→10 年位。
- ・車のチェックは3カ月おき。
- ・入浴の可能なバイタルは？

【看護師】

- ・言葉は知っていても実際は知らなかった。家族に話せるよう学べた。
- ・お湯を何回も変えられるのは良い。

【退院支援担当者】

- ・重たそうだが→コツがある。
- ・一日最大6件で職員の身体的負担が多い。業務負担等のイメージがつきづらい。
- ・時間と人数の確保が大変なのは？
- ・お金のことで相談を受けたことがある。
- ・入浴指示書をもっている→血圧の目安はどうしているか。
- ・訪問入浴の湯の入替えを少なくしている。
- ・ターミナル 60 代、男性、要介護になられ訪問入浴1回のみだった。本人、家族喜んでいらっしゃる。

【ケアマネジャー】

- ・ターミナル、高齢者が多く、本人は湯船に浸かりたい希望あり。
- ・体調不安定や経済的に利用が困難。
- ・経済的に高いイメージがあり、利用者希望があまりなかった。訪問入浴よりもヘルパーでもらいたい。心臓の負担、湯づかれの問題。
- ・入浴については、ヘルパー・訪看に流れでお願いできる。
- ・ヘルパーでの入浴介助と訪問入浴のサービスを比べてみて、ご家族が入浴時の様子が見れるので安心。一緒に介護できるので安心。(満足感がある)
- ・家族とコミュニケーションがとりやすいサービス。
- ・軽自動車が入るところが条件かなと思う。(止められる)
- ・入浴は利用者様(日本人として)とても大切なこと。お風呂に浸かれるということは有難いこと。(1,234 点かかる。デイと併用で使用することもある)
- ・質問:一時的な訪問の時もあるのか→ある(ターミナルだと特に)。
- ・2F 建ての家、デイにも連れだせない利用者がいて、訪問入浴を利用して入浴を行なえた。利用者も楽しく入浴できたと喜ばれた。どうにかして他の利用者を受けさせてあげたいと今回思った。
- ・最低限の情報は→感染。
- ・一応、依頼があれば断らない。(時間、スタッフ人数などで断ることもある)
- ・訪問時に体調の悪化した場合は→中止の場合あり。
- ・重労働には見えるが、患者、利用者を湯に浸ける時は実際には浮力などもあってそこまでの労作はない。ただ移動やデイケアで体力を消耗されるので、訪問入浴を導入すると家族負担の軽減につながる。本人の精神的負担の緩和にもつながるのが良い。ただ単位数についての疑問がある。
- ・事業所が3ヵ所と少ないので希望が通らなかった。時間的制約がある→3ヵ所での連携は図れる→ケアマネが調整。
- ・訪問看護と訪問入浴の同時利用について
- ・医療と介護等で入る。
- ・介護 4・5 利用中。入られた後、身体柔らかい。すっきり。いいものだ。
- ・ターミナル、医療、訪看と一緒に入るケースの実例も伺えて勉強になった。
- ・すばやさ、状況に合わせた対応に関心する。
- ・デイで入浴を希望するも状態が不安定で行き帰りが困難でデイに断られ、自宅での入浴となる。

【訪問看護師】

- ・訪問入浴のスタッフと一緒に入ることが多いが、細かいところまで見られて良かった。
- ・ターミナルの方への入浴をさせてあげたいと感じた。気持ちよく最後を迎えさせてあげたい。
- ・好評だが、後の洗濯が負担。タオルのレンタルの導入は?(有料)→負担
- ・一式持参の場合もあり(サービスで選択の場合あり)
- ・重労働だと思う。
- ・訪問入浴→タンカを使用している。腰ベルトを使用している。
- ・ターミナル事例あり。バイタルが落ちるとターミナルの方には訪看ができるだけつくようにしている。
- ・デイ、自宅入浴の方が多い。訪問入浴の方、1名。
- ・コスト的なこと、家族の介護力、洗濯物の量がしんどい方(訪問入浴は大量の洗濯物がある)は、自宅に入れる方もある。
- ・エンゼルケアもしやすい。肌ツヤも変わる。人工呼吸、バルーン交換の日に重ねることもある。
- ・手際よくて、利用者の把握、家族とのコミュニケーションがとれている。

【訪問リハ】

- ・医療の場合は家族が調整することになる。障害も担当がついていないと調整が困難。訪問看護入っているとOK。

【訪問入浴】

- ・3人スタッフがいるため、家族の方もいろいろ話をして下さる。待っていて下さる。そこで問題が生じたら看護師が家族と話をしたりする。一緒に笑ったり、TV の話題を話したりする。
- ・近所との関係ができていたら軽自動車をとめさせていただくケースもあり。
- ・駐車許可をもらって行くこともあり。3カ月 5 千円。事業所負担。
- ・道路に駐車する場合は、警察に届けて許可証をもらう。この際にかかる費用は事業所負担している。(1カ所ごとに)
- ・排水、電源、水道は必ず担当者会議で確認する。(15 アンペアでは電源が落ちる)

【ホームヘルパー】

- ・訪問入浴を頼んだ時、希望の時間帯が多かったりして順番待ちだった。3 事業所しかない。職員不足。

【福祉用具】

- ・訪問入浴は特に関わりはない。
- ・ベッドマット交換での皮膚状態の関係で、入浴したいとご家族の願いがあれば、本日の研修を繋げていきたいと思う。
- ・マンパワーにおける移乗が大変。特殊寝台等の器具を使わないので、何かマンパワーの援助となるのはないか。スライダー等はないか。

【行政】

- ・入浴介護時に肉体的に負担がこないか。→コルセットを使用していたり、タンカを使用したりする。
- ・利用者は何人位いるのか、事務所や地域によっても異なるとは思いますが、人数やローテーション、勤務形態等が知りたい。
- ・シャワー後排水するが、浴槽内の状況がもう少し詳しく知りたい。
- ・活動範囲区域を知りたい。→薩摩川内市内全域(こしき島除く)串木野、羽島。

【在宅歯科】

- ・身体は清潔になるが、口腔面の清潔も気をかけてほしい。口腔ケアもお風呂と一緒にと思う。
- ・表情、柔らかい。お口の中もきれいな状態でターミナルの方も気づいて頂けるよう活動していきたい。

②訪問入浴の利用事例など。

【ホームヘルパー】

- ・訪問入浴を頼んだが、空気がなく、家族に簡易浴槽を用意してもらった。自宅の浴槽からのお湯張りに苦
労、排水がおそい、ネットもなく、硬縮した患者をスタッフ一人が抱きかかえたままでの入浴となった。不安
定であり、大変疲れた。専門の訪問入浴をお願いした方がよかった。
- ・今回体験した事により、訪問入浴のスタッフの方々の(一日の件数にもよるが)、負担の大きさがわかった。

【ケアマネジャー】

- ・便秘の方:腹部マッサージはなでる。おまじない。
- ・看護師の方もいるためリラクゼーションマッサージをしている。
- ・訪問入浴をすることで表情が変わった。家族への助言等、メンタル、フォローができる。
- ・ターミナルの方で入浴後2日後に亡くなられた。当初、本人は拒否していたが、「入浴できてよかった」と。
残された家族へのケアのためにはよかった。
- ・ベッドの横につけられなくて玄関まで運んだこともあった。
- ・1回で断られたこともあった。
- ・前の家で使ったのを大丈夫かと言われたことがあった。

【訪問看護師】

- ・排便あり→すくう→どンドン流す。
- ・余命をのばすとかでなく、保清が目的。
- ・口腔内も吸引器が付属した歯ブラシで保清している方もある。